子ども・青少年育成支援シンポジウム

発達障害の子どもたちのイマとミライ

講演

青年期までの発達上の課題から考える
発達障害の子どもたちの自立に必要な支援とは

米山 直樹 氏
［関西学院大学 文学部 総合心理学科　教授］

パネルディスカッション

キャリア系パネルディスカッション

発達障害の子どもたちのキャリア形成の実際と
必要な支援について考える

パネリスト：古川 直樹 氏［特定非営利活動法人クロスジョブ神戸 理事長］
今井 紀明 氏［特定非営利活動法人D×P 共同代表］
モデレーター：村中 直人　［子ども・青少年育成支援協会 共同代表］

教育系パネルディスカッション

発達障害の子どもたちの教育現場での実際と
必要な支援について考える

パネリスト：高橋 武志 氏［大阪YMCA国際専門学校高等課程
表現・コミュニケーション学科美術科 教員］
三宅 亮 氏　［大阪府立たまがわ高等支援学校 教諭］
モデレーター：上木 誠吾　［子ども・青少年育成支援協会 共同代表］

2014年3月9日（日）
13:00～16：30
受付開始：12：30～

グランフロント大阪
タワーB 10階
カンファレンスルーム
B05＆B06＆B07

参加無料　定員 150名

www.cysa.or.jp

参加申込　web参加フォームよりお申込みください。
http://asuhana.jp/symposium

一般社団法人
子ども・青少年
育成支援協会

発達障害の子どもたちのイマとミライを考える

発達障害に関する不安や悩みを抱える子どもたちや保護者への継続的・横断的支援に対する、地域社会や家族の理解の必要性がますます高まっています。支援現場においては、幼児期の療育や親子相談、児童期から青年期の学校教育及びキャリア教育、社会性向上のためのソーシャルスキルトレーニングなど、さまざまな支援が展開されるようになってきました。
しかし、児童期から青年期で課題となる進学や就労に関する具体的支援についての専門家や支援者の数がまだまだ不足しており、実際は支援が非常に薄いのが現状です。
知的な遅れの有無にかかわらず、発達障害のある子ども達が社会に出て、活き活きと過ごしていくためにはどのような支援が必要なのか。
本シンポジウムでは、発達障害の子どもたちへの支援のあり方などを考える機会としたいと思います。

子ども・青少年育成支援シンポジウムとは

発達障害や不登校などの特別なニーズを持つ子どもたちへの支援活動や支援者育成をおこなうために2009年に設立された、一般社団法人子ども・青少年育成支援協会が主催するイベントです。
年に1回以上の頻度で開催され、テーマに沿って課題解決方法などを議論します。

タイムスケジュール

13:00 開会挨拶

13:05 講演

青年期までの発達上の課題から考える
発達障害の子どもたちの自立に必要な支援とは

14:50 パネルディスカッション

キャリア系ディスカッション

発達障害の子どもたちのキャリア形成の実際と
必要な支援について考える

教育系ディスカッション

発達障害の子どもたちの教育現場での実際と
必要な支援について考える

16:30 閉会

講演者

米山 直樹 氏

関西学院大学 文学部 総合心理学科　教授
[博士（文学）、臨床心理士・学校心理士・臨床発達心理士]

- 関西学院子どもセンター発達支援部門代表
- 関西学院大学総合支援センターキャンパス自立支援室アドバイザー
- 日本学生支援機構 障害学生支援メニュー発達障害部門　ワーキンググループメンバー
- 兵庫県特別支援教育相談員
- 西宮市・明石市・三田市発達支援相談員
- 神戸市こども家庭センター判定業務スーパーバイザー
- 日本行動分析学会　理事
- 日本行動療法学会　編集委員

専門領域は臨床心理学。主に不登校児や発達障害児への支援の在り方について、学習理論に基づく行動療法や応用行動分析を中心とした行動論的アプローチから実践・研究を進める。問題の発生原因を本人の内面のみに求めるのではなく、あくまでも環境と本人との相互作用上に生じた不具合として捉え、双方に働きかけ問題の改善を試みる。臨床場面における効果測定の際には、具体的・客観的定義を基にした観察可能な事象を中心に取り組む。最近では、大学内のプレイルームにおいて発達障害児を対象とした個別支援の研究を行っている他、地域の特別支援学校や発達相談機関と連携して、本人や家族への支援方法の開発や分析も行っている。

パネリスト

今井 紀明 氏

特定非営利活動法人D×P 共同代表

1985年札幌生まれ。2010年に立命館アジア太平洋大学（ＡＰＵ）卒業。大阪の専門商社勤務を経て、2012年6月に特定非営利活動法人D×P（ディーピー）を設立し、共同代表に就任。通信制高校の高校生向けキャリア教育事業「クレッシェンド」や専門学校等の中退予防の事業を関西で展開し、「ひとりひとりの若者が自分の未来に希望を持てる社会」を目指して行動している。
2013年2月、ビジネスプランコンペedge2013「優秀賞」受賞。

古川 直樹 氏

特定非営利活動法人クロスジョブ神戸　理事長

- 就労移行支援事業所クロスジョブKOBE所長

元兵庫県総合リハビリテーションセンター職能開発施設施設長。
兵庫県の就労支援施策策定や運営に長年携わる中で、量的増大、質的深化が顕著となってきた発達障害者の就労支援が喫緊の課題であると考え、迅速な課題解決に動くために退職。2012年5月、発達障害者のための就労移行支援事業所として特定非営利活動法人クロスジョブ神戸を設立し、理事長に就任。設立後直ぐに多数の就職者、待機者が出るなど成果を短期間で出す。2014年4月にハローワーク神戸に隣接するビル内に就労移行支援事業所の2か所目を開設予定。

高橋 武志 氏

大阪ＹＭＣＡ国際専門学校高等過程
表現・コミュニケーション学科美術科　教員

- 甲南女子大学 人間科学部 総合子ども学科　非常勤講師
- takeshi factory 代表

兵庫県生まれ。3才よりクラシックピアノをはじめ、18才で渡米。Pennsylvania college of Art and Design/San Francisco Art Institute 両大学を卒業。故ヴァイナー名誉教授に師事するも音楽から美術の世界へ。帰国後、AD ＋Dを経て2007年からフリーランスの活動をはじめる。近年はイラスト・イベント企画等を中心に活動する傍ら、Artを切り口にした関わり方で発達障害児への教育にも従事している。また、子ども向け音楽ユニット”パンダラーズ”も主宰している。

三宅 亮 氏

大阪府立たまがわ高等支援学校　教諭

大阪市立大学生活科学部人間福祉学科卒業。民間企業での勤務を経て、以前からの自身の想いを実現させるため、2013年に大阪府立たまがわ高等支援学校の教諭となる。担当科目は国語。それまでの民間企業での経験をいかすべく、特に働く上で必要なコミュニケーションの基盤である「国語教育」と進路指導を融合させた教育に尽力している。また、生徒の「職業選択の幅」を維持させるべく、「職場開拓」も行う。

主催	一般社団法人 子ども・青少年育成支援協会
協賛	株式会社クリップオン・リレーションズ、株式会社リエゾ
後援	大阪府、大阪市（予定）、大阪府教育委員会、 大阪市教育委員会（予定）、一般社団法人ナレッジキャピタル
問い合わせ先	一般社団法人 子ども・青少年育成支援協会 〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町3番1号 グランフロント大阪 ナレッジキャピタル8階 K821 tel 06-6136-3562　fax 050-3730-2807　http://www.cysa.or.jp